§4 平均値の定理とその応用 演習問題 2 解答

❷ 問題の難易度の目安【基礎】★☆☆ 【標準】★★☆ 【発展】★★★

1 (★☆☆)(不等式の証明)

平均値の定理を用いて次の不等式を示せ:

$$\frac{b-a}{1+b^2} < \operatorname{Arctan} b - \operatorname{Arctan} a < \frac{b-a}{1+a^2},$$

ただし、0 < a < bとする。

解 $f(x) := \operatorname{Arctan} x$ とおく. f(x) は微分可能である. 区間 (a,b) に平均値の定理を適用すると,

$$f(b) - f(a) = (b - a)f'(\xi)$$

をみたす $\xi \in (a,b)$ が存在する。 $f'(\xi) = \frac{1}{1+x^2}$ であり, 0 < a < b に対して $\frac{1}{1+b^2} < f'(\xi) < \frac{1}{1+a^2}$ であるから,上式と合わせて,

$$\frac{b-a}{1+b^2} < \operatorname{Arctan} b - \operatorname{Arctan} a < \frac{b-a}{1+a^2}.$$

_2 (★★☆)(極限の導出)

f(x) は区間 I で C^2 級 (すなわち第 2 次導関数 f'' が存在して f'' が連続) であるとする. 極限

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+2h) - 2f(x+h) + f(x)}{h^2}$$

を求めよ.

解 $h \neq 0$ を十分小さい数とし、関数 g(x) を

$$q(x) := f(x+h) - f(x)$$

と定める. このとき,

g(x) は微分可能であるから、平均値の定理より、ある $\theta \in (0,1)$ が存在して、

$$g(x+h) - g(x) = hg'(x+\theta h) = h\left(f'(x+\theta h+h) - f'(x+\theta h)\right) \quad \cdots \ 2.$$

さらに f'(x) に平均値の定理を用いると、ある $\omega \in (0,1)$ が存在して、

$$f'(x+\theta h+h)-f'(x+\theta h)=hf''(x+\theta h+\omega h)\cdots 3.$$

したがって、①、②、③より

$$f(x+2h) - 2f(x+h) + f(x) = h^2 f''(x+\theta h + \omega h)$$

であるから、f"の連続性を用いて

$$\lim_{h \to 0} \frac{f(x+2h) - 2f(x+h) + f(x)}{h^2} = \lim_{h \to 0} f''(x+\theta h + \omega h) = f''(x).$$

3 (★★☆)(等式の証明)

 $-1 \le x < 1$ のとき、 $Arcsin x = 2Arctan \sqrt{\frac{1+x}{1-x}} - \frac{\pi}{2}$ が成り立つことを、

$$f(x) := \operatorname{Arcsin} x - 2\operatorname{Arctan} \sqrt{\frac{1+x}{1-x}}$$

とおいて、導関数 f'(x) が恒等的に 0 であることを示すことによって、証明せよ.

解 $f(x) := \operatorname{Arcsin} x - 2\operatorname{Arctan} \sqrt{\frac{1+x}{1-x}} \ (-1 \le x < 1)$ とおく.

$$f'(x) = \frac{1}{\sqrt{1 - x^2}} - 2 \frac{\left(\sqrt{\frac{1 + x}{1 - x}}\right)'}{1 + \left(\sqrt{\frac{1 + x}{1 - x}}\right)^2}$$
$$= \frac{1}{\sqrt{1 - x^2}} - 2 \frac{\frac{1}{2} \left(\frac{1 + x}{1 - x}\right)^{-\frac{1}{2}} \frac{2}{(1 - x)^2}}{1 + \frac{1 + x}{1 - x}}$$
$$= \frac{1}{\sqrt{1 - x^2}} - \frac{1}{\sqrt{1 - x^2}} = 0.$$

ゆえに, f(x) は $-1 \le x < 1$ で定数関数で、したがって任意の $x \in [-1,1)$ に対し

$$f(x) = f(0) = Arcsin 0 - 2Arctan 1 = -\frac{\pi}{2}$$

i.e.,

$$Arcsin x = 2Arctan \sqrt{\frac{1+x}{1-x}} - \frac{\pi}{2}.$$